

○岩手南部森林管理署・遠野支署の「採材現地検討会」に参加しました。

青森事務所では毎年、各森林管理署等の採材現地検討会に参加し、技術指導や情報提供など行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するように努めています。

平成30年7月30日(月)は和賀郡西和賀町の志賀来国有林で開催された採材現地検討会に、青森事務所から3名が参加してきました。

数日猛暑が続き、この日も現地は暑さで汗ばむ中、岩手南部森林管理署及び遠野支署管内の関係者を含め、総勢90名を超える参加者による検討会となりました。

岩手南部森林管理署管内のスギを主体とした生産事業箇所において、スギと広葉樹の採材について検討しました。

スギの全幹材4本と広葉樹(サワグルミ・ホオ)の全幹材2本が用意され、選抜された5班に分かれて採材検討した後、各班から検討結果を発表し、採材の考え方等について全体で意見交換を行いました。また、スギの採材を確認するため、ハーベスタ造材の実演もされました。

青森事務所からは最近の販売状況を踏まえた採材の指導及び情報提供と、最後に労働災害対策を含めた講評をさせていただきました。

青森事務所では今後も国有林材の有効な資源活用に貢献していきたいと考えています。

